

# 奥羽大学報



卒業証書・学位記授与式

## 目次

奥羽大学の理念・目的/平成30年度卒業証書・学位記授与式	2
平成30年度学位授与論文題名一覧	4
卒業記念贈呈式/歯学部卒業記念パーティー/薬学部謝恩会/第112回 歯科医師国家試験/第104回薬剤師国家試験	5
第3回薬学部FD研修会/第4回薬学部FD研修会/FD・SD研修会/瑞宝双 光章を受章歯学部9期生の羽染直樹さん	6
薬学部第3回及び第4回教育研修・講演会/郡山市内学生ボランティア 事業報告会	7
無菌調剤研修会/医学教育専門家資格制度認定プログラム/薬学部2年 黒澤梨紗さん金賞受賞	8
奥羽大now/本屋大賞などのコーナー設置	9
無垢サロン	10
キャンパスの風景	11
本多真史講師が楡葉市民大学で公開講座/附属病院	12
歯学部研究紹介	13
薬学部研究紹介/自著を語る	14
父兄会	15
本学関係新聞記事案内(平成30年4月~31年3月)	16
同窓会だより/同窓生のひろば	17
退職によせて	18
人事/平成31(2019)年度 奥羽大学オープンキャンパス実施概要	19

## 奥羽大学の理念・目的

## 理 念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

## 目 的

奥羽大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）並びに学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部はその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

## 平成30年度卒業証書・学位記授与式

卒業証書・学位記授与式は3月10日(日)午後1時より本学記念講堂において挙行された。

式典は、多数の来賓のご臨席を賜り、保護者や教職員が参列し、厳粛に進行した。来賓を代表して学校法人晴川学舎影山英之理事長の祝辞を小林克男理事が代読し、清野和夫学長が告示を贈った。また、卒業生を代表して歯学部歯学科の佐々木楨一さんが答辞を述べた。

歯学部歯学科35名、薬学部薬学科65名に卒業証書ならびに学位記が、また大学院修了者5名に博士（歯学）の学位記が、一人一人に授与された。



## 祝 辞

## 理事長 影 山 英 之

本日、本学より卒業証書と学位記を手にとられます皆さんと御臨席なされましたご父兄各位にとりまして本日は「無上の喜び」と拝察いたし心よりお祝いを申し上げます。

本日はまことにおめでとうございます。

卒業されます皆さんにとって、今日までの長い間には多くのことごとを経験なされたことと思います。限られた時間では到底語り尽くせぬ程の数多の経験は「思い出」という一括りの言葉にとどまることはなく必ずや皆さんの人生に豊かな実りをもたらす良質な糧となってくれることを信じております。

とりわけ最後の学生生活である本学で皆さんが「物事の本質を捉える大切さ」を学んで行ってください、私共にとってこれ以上の喜びはありません。

これから後皆さんが常に良識と善意を備え医療を通して地域社会に貢献なされますことを願ってやみません。

何事も一朝一夕に出来ることばかりではありませんが困難が全てでもありません。今自分の前になすべきことがあれば、できぬ心配をするよりは、できたときの喜びを心に描いてやってみることで。失敗は成功の母、何度でも立ち直る努力をいとわなければくじけることは恥にはなりません。

今日の仕事を明日に延ばさず今日の仕事としてやり遂げることで。一日一日実行することで。それを繰り返して積み重ね続けていく先に更なる

可能性が生まれ、目標は達成されます。

結びにあたり卒業生の皆さんに喝采を贈ると共に御臨席の皆さまの御健勝を祈念致しまして私の祝辞といたします。

(代読 理事 小林 克男)

## 告 辞

### 学長 清野 和夫

卒業式を迎えられたみなさん、ご卒業まことにおめでとうございます。ご両親様をはじめご家族の皆様には、今日の日を大きな喜びをもってお迎えになられたことと、心よりお祝いを申し上げます。

本日、ここに、学校法人晴川学舎理事長影山英之様をはじめ、ご来賓の方々、卒業生のご両親様、ご家族様のご臨席を賜り、平成30年度卒業式を挙げていきますことは、本学にとって最も大きな喜びとするところでございます。

本学は、「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材の育成」を建学の理念に掲げ、1972年、東北・北海道地域における唯一の歯科大学として設立され、1986年には大学院を、2005年には福島県で初めての薬学部を開設いたしました。以来、本日で歯学部は4197名、薬学部は854名の卒業生を、大学院は370名の博士を世に送り出すことになりました。

卒業生の皆さんが本学で培った「豊かな人間性」とは、言うなれば「思いやり」であります。自分が望まないことは他人にしてはならない。言い換えれば、相手の身になって思い、語り、行動することです。そのためには、相手が何を欲しているかに気づいてあげることが求められます。この「気づき」は、心身ともに弱っている患者さんと向き合う歯科医師、薬剤師が常に備えていなければならない心得でもあります。本学で培った「豊かな人間性」、「思いやり」の精神を生涯持ち続け、これから待ち受ける医療の現場で思う存分に力を発揮していただきたいと願っています。

皆さんが本学で学んでいた間に、日本の社会はいくつかの課題を抱えました。その一つに、少子高齢化があります。日本人の年齢構成をみますと、65歳以上の高齢者が人口の約3割を占めるようになった一方で、出生数が年間百万人を割り、日本

は世界のなかで類をみない少子高齢社会となりました。日本人の平均寿命は男女とも80歳以上となり、心身ともに健康で生活できる期間、すなわち健康寿命も73歳を超えて、世界でも有数の健康長寿の国となりました。このような社会にあって、人はどのように活力をもって時代を生き抜いていくか、そのための経済、社会はどうあるべきか、政府は「人生百年時代構想会議」を設置し、社会のグランドデザインを検討しはじめました。人生百年時代が現実味を帯びてきた感がいたします。卒業生のみなさんがこれから向き合う超長寿社会では、乳幼児から高齢者に至るまでの、人生の各ライフステージに合わせた医療が今以上に求められ、歯科医師、薬剤師は国民の健康長寿社会を支える中心的役割を担うこととなります。卒業生のみなさんには大きな期待が寄せられていますので、先輩の方々と協力して日本の健康長寿に貢献していただきたいと願っています。

福島県にある本学において、震災と放射能の実害、それに続く風評被害のなかで、皆さんは懸命に努力して本日の卒業式を迎えたわけでございます。人生のなかで最も多感な青春時代を過ごした郡山の街、奥羽大学のキャンパス、そして多くの友との出会い、恩師の先生、お世話になった職員、どれをとっても皆さんにとっては宝であり、一生忘れ得ぬ思い出でもあります。

皆さんが卒業するに当たって、もう一つ忘れてならないことは、いつでも、どのようなときでも皆さんを温かく見守って下さったご両親様の愛情です。ご両親様からいただいたこの上ないお力添えに対して、一生、感謝の気持ちを持ち続けていただきたいと思います。

卒業するみなさんは、歯科医師、薬剤師あるいは教育研究者として社会に巣立って行くこととなりますが、実社会においては自分ひとりの力だけで思いを成し遂げることはできません。それには自分を取巻く多くの人々と共に協力していくことが必要となります。社会のルールを守り、思いやりの心をもって接すれば、周囲の協力は得られることと思います。本学の建学の理念である「豊かな人間性」を備えたみなさんですので、必ずや社会に溶け込み、それぞれの思いを成就できることと確信しています。

奥羽大学の卒業生としての自覚と自信を持って今後の人生を歩んでください。本学で学んだ高度な専門知識と技術を基に、地域医療に貢献し、患者さんから信頼される歯科医師、薬剤師となって

活躍されることを願っています。

むすびに、皆様のご健康とご発展をご祈念申し上げ告辞といたします。

## 答 辞

卒業生代表 歯学部歯学科  
佐々木 槇一

安達太良の穏やかな木の芽風に吹かれ、春の蕾が一層と膨らみを増そうとしている今日、私たちは卒業の日を迎えることができました。

本日は私たちのために、このように盛大な式典を挙行していただき、卒業生一同、心より御礼申し上げます。また理事先生、学長先生をはじめ、ご来賓の先生方、関係各位の皆様のご臨席、ならびに激励の言葉を賜り、誠にありがとうございます。

桜咲き、春の香りに包まれた六年前の四月、私たちは大きな希望を胸に、奥羽大学に入学いたしました。入学当初を振り返ると、白衣を身に纏い、凜とした面持ちで構内を歩く先生方や先輩方のお姿に医療系大学ならではの光景を目の当たりにして緊張感を覚え、同時に、これから携わっていく「医療」という学問に漠然とした不安が込み上げてきたことを今でも思い出します。しかし、その緊張感と不安は、志を同じくする仲間との出会いや大学職員の皆様の温かい支えにより、日に日に和らいでいきました。

とはいえ、「人間性豊かな歯科医師、薬剤師」への道は平坦でなく、志を同じく歩み出した私たちは、幾度となく諦めかけたこともありましたが。そのような私たちの心を払拭し、医療を学ぶことの素晴らしさを教え、授けるとともに、寄り添い、励まし、時に厳しく導いてくださったのは、ここにいらっしゃる先生方でありました。

深い学びの世界へと教え導いてくださった先生方、志を同じくした仲間たち、温かい眼差しで見守ってくれた家族など、多くの方々との出会いとお力添えがあったからこそ、私たちはここまで歩んでくることが出来ました。心より感謝申し上げます。

本日、私たちは慣れ親しんだ学び舎に別れを告げ、新たな道へと歩み始めます。これより先は、今まで以上に困難に直面することもあろうかと思えます。しかし、本学で学び得た「諦めず、直向きに前へと進む強き心、苦しむ人に寄り添い、励まし、救いの手を差し伸べる慈愛の精神」は、必ずや私たちの糧となり、如何なる困難をも乗り越える力となってくれることと信じています。

今後、私たちは、慈愛の精神に満ちた「人間性豊かな歯科医師、薬剤師」像を忘れることなく、この奥羽大学で学び得た知識と経験を活かし、医療ならびに社会のさらなる発展に貢献していく所存です。

今日まで、ご指導下さいました諸先生方ならびに大学関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、これからの変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、諸先生方、ご来賓の皆様の一層のご健勝と、奥羽大学の益々のご発展を心より祈念いたしまして、答辞とさせていただきます。

## 平成30年度学位授与論文題名一覧

学位取得者	専攻・講座	論文題名
白田 真浩	顎口腔外科学	耳介側頭神経と周囲ランドマークとの位置関係に関する研究
五十嵐一彰	生体材料・医用工学	プロビジョナルブリッジにおけるPEMAとアネトールを基材とした仮着材の保持力に関する研究
小島 剛志	口腔機能回復学	亜鉛がTAS2R8遺伝子発現に及ぼす影響
村上 彩乃	顎顔面口腔矯正学	学童期の睡眠呼吸動態が顎顔面の成長発育に及ぼす影響について
保田 穰	総合診療歯科学	スプリント装着時の心拍変動による自律神経の変動について

## 卒業記念贈呈式

3月7日(木)、平成30年度卒業記念贈呈式が午後1時より学長室にて行われた。歯学部代表の西口元さん、薬学部代表の増淵雅充さんから卒業記念としてそれぞれ10万円が贈呈され、清野和夫学長より、後輩及び大学のために大切にに使わせていただく、との謝辞があった。



## 歯学部卒業記念パーティー

3月10日(日)、卒業証書・学位記授与式後午後7時より郡山ビューホテルアネックス3階雲水峰の間において、歯学部卒業記念パーティーが開かれた。

大野敬歯学部長、渡辺友彦同窓会会長の挨拶と山崎信也父兄会会長からの謝辞、学年主任の高田訓教授から卒業生への贈る言葉があった。

卒業生たちは恩師や学友、保護者らと6年間の大学生活の感謝や思い出を和やかに語り合っていた。



## 薬学部謝恩会

3月10日(日)、卒業証書・学位記授与式後午後6時より、郡山ビューホテルアネックス4階花勝見の間において、薬学部第11期卒業準備委員会の主催による謝恩会が開かれた。

増淵雅准準備委員会委員長の開会のことば、澁川直久父兄会長の感謝のことばに続いて、衛藤雅昭薬学部長の祝辞があり、道を自ら切り拓いてゆくよう、また高い教養を身に付けてゆくよう、言葉が贈られた。6学年主任佐藤栄作教授より、今後も奥羽大学との絆を強く保ち続けてほしいとの言葉があり、乾杯ののちは、恩師や学友たちと和やかに語り合っては別れを惜しんでいた。



## 第112回歯科医師国家試験

2月2日(土)、3日(日)の2日間、宮城県仙台市ほかの会場において、第112回歯科医師国家試験が実施された。

3月18日(月)に厚生労働省及び各地方厚生局で合格者発表があった。本学からは116名が受験し、合格者は35名であった。そのうち新卒者は35名が受験し、合格者は18名であった。

## 第104回薬剤師国家試験

2月23日(土)、24日(日)の両日、産業見本市会館サンフェスタ(宮城県仙台市)ほか会場にて第104回薬剤師国家試験が実施された。

3月25日(月)に厚生労働省および国家試験運営臨時事務所で合格者発表があった。本学からは154名が受験し、合格者は64名であった。そのうち新卒者は64名が受験し、合格者は32名であった。

### 第3回薬学部FD研修会

本年度第3回薬学部FD研修会が、昨年12月19日(水)午後4時15分から薬学部棟523教室で開催された。今回は「シラバス作成方法について」と題して、本学部カリキュラム委員会の早坂正孝委員長と伊藤頼位委員により、来年度の授業概要(シラバス)の執筆に関する説明があった。早坂委員長による第三者評価で求められるシラバスの記載内容の説明の後、伊藤委員よりシラバスの各項目について留意すべき事項の説明があった。より効果的な教育を実施するために、シラバス策定に関する教員の認識を深めることができた。

### 第4回薬学部FD研修会

本年度第4回薬学部FD研修会が、1月16日(水)午後5時30分から薬学部棟513教室で開催された。今回は本学歯学部心理学の鈴木敏城講師により、「学習支援を必要とする学生への対応」と題した講演が行われた。当該学生を発達障害と意欲の有無により3つに分類し、それぞれに適した対応について説明があった。また、インクルーシブ教育、教員のクラス集団を観る力・育てる力、批判的読解力の重要性についても言及された。学生への対応法について理解を深めることができ、教員にとって大変良い機会となった。



### FD・SD研修会

本学教職員の教育研究活動や事務の向上、質的充実を図ることを目的としたFD・SD研修会が2月8日(金)、第3講義棟で開催された。今回のテーマは「こんなとき、どうする? ~暴力、不当要求への対応~」。

福島県郡山北警察署の捜査第2係長中島祐伸氏より、暴力団等からの不当要求を受けた場合に組織として意識すべきことや毅然とした対応の取り方などについて、説明がなされた。



### 瑞宝双光章を受章

#### 歯学部9期生の羽染直樹さん

昨年4月、歯学部を昭和61年に卒業した羽染直樹さんが平成30年春の叙勲により、厚労省関係の瑞宝双光章を受章した。



受賞理由はへき地医療を長年にわたり続けてきた功労によるもの。

羽染さんは本学卒業後、栃木県の大病院勤務を経て平成4年に故郷の伊南村(現南会津町伊南地区)で「羽染歯科医院」を開業した。この地域は特別豪雪地帯で、町村合併前の旧3村及び既存1村の広大な地域に歯科診療所がほかに1件という「へき地」。羽染さんはこうした地域で努力を重ねられた医療行為が評価された。県知事公館において叙勲伝達式が行われ、その後皇居での天皇陛下拝謁へと臨まれた。

### 薬学部第3回及び第4回教育研修・講演会

第3回教育研修・講演会は昨年12月19日(水)、栃木県立がんセンター名誉理事長清水秀昭氏による講演が行われた。テーマは「がん治療の変遷」。平成19年4月がん対策基本法が施行され、それに基づいて第1期がん対策推進基本計画が策定された。その結果、日本全国でがん診療の均てん化が進められ、国・地方のがんの政策医療とともに、がん診療も変遷を重ねてきている。がん専門病院として栃木県立がんセンターでの取り組みを中心に、がん治療法の変遷や新たな知見などが紹介された。

第4回教育研修・講演会では3月13日(水)、聖路加国際病院副院長救急部・救命救急センター長石松伸一氏の「救命救急最前線-命を救う救急医の活躍-」と題しての講演が行われた。救急医学の歴史と聖路加国際病院で提供している救急医療と、これまでに経験した小規模～大規模の災害医療の紹介が示され、特に地下鉄サリン事件に直接かかわった聖路加国際病院の対応について救急医療チームの重要性が紹介された。

(薬学部 教育研修・講演会委員長 井上忠夫)



第3回：清水秀昭氏の講演「がん治療の変遷」



第4回：石松伸一氏の講演「救命救急最前線」

### 郡山市内学生ボランティア事業報告会

2月18日(月)、郡山市役所にて平成30年度郡山市内大学との協定に基づく学生ボランティア事業報告会が開催された。

昨年7月から8月にかけて、本学、日本大学工学部、郡山女子大学・短期大学と郡山市教育委員会が一丸となり郡山市内の小・中学生への学習指導を行ってきた。

報告会では本学から学事部職員と歯学部1年岩淵皓資さんの2名が出席した。ボランティアに参加した岩淵さんからは次のような感想が寄せられた。

「今回、夏休みの期間を利用して郡山市の小学生、中学生に勉強を教えるボランティアをさせていただきました。私は今まで何かを教える経験がありませんでした。そのため、活動の場で一緒にした寺子屋郡山の先生方の後ろを追いかけ、見よう見まねで教える役のマネをしていました。傍から見ればただただ滑稽なだけかもしれませんが、そのような人間の語ることでさえも知識として吸収しようとするその姿に驚きました。

また、貪欲なまでに知識を得ようとするその姿勢から逆に私自身が学ぶことも多くありました。貴重な機会に恵まれ、得難い体験ができました。本当にありがとうございました。」



## 無菌調剤研修会

2月17日(日)および2月24日(日)、本学にて薬学部臨床系教員(早坂正孝教授、伊藤鍛教授、大原宏司講師、小田中啓太助教)が講師となり厚生労働省予算事業(地域医療介護総合確保基金事業)の無菌調剤室共同利用研修会を開催した。

今般、在宅療養の推進に伴い保険薬局における注射剤混合調製業務の普及が急務となっている。この社会背景を受けて、厚労省予算事業の一環として郡山薬剤師会に市中の保険薬局勤務者が共同利用できる無菌調剤室が設置されている(今回新たに福島市内にも設置予定)。

本研修会においては、福島県薬剤師会および郡山薬剤師会からの要請により無菌調剤室共同利用者のために注射剤の無菌調製に関する理論、手技並びに感染制御についての講義・実習を行った。



## 医学教育専門家資格制度認定プログラム

日本医学教育学会認定医学教育専門家資格制度認定プログラムの「第2回学習者評価」に関する研修が、3月2日(土)と3日(日)に東京医科歯科大学で開催された。このプログラムは、新たに制度化された「医学教育専門家」の資格を取得するためのものである。本学からは、歯学部の玉井利代子准教授が第1回に引き続き参加した。医学部では分野別認証評価を受ける際に、この資格取得者が在籍していることが必須要件とされることもあって、当日は全国の医学部・歯学部・看護学部などの医療系学部から計40名が参加した。

## 薬学部2年黒澤梨紗さん金賞受賞

福島県女性経営者プラザ主催「第5回女子学生懸賞作文(テーマ:私は女性経営者になって、こんな“しごと”をやってみたい!)」審査会が昨年12月17日(月)に開催され、応募作31篇の中から、本学薬学部2年生黒澤梨紗さんの「健康長寿県福島をつくる」が最高賞の金賞に選ばれた。(作文の全文は「無垢サロン」に掲載)当作品で黒澤さんは、薬剤師になって、まず病院に5年間勤務し知識と経験を積んだ後、職場を薬局に転じ、やがては、レストランやスポーツジムを併設した総合健康ステーションを立ち上げたいと“夢”を語った。

なお、受賞作文発表会及び表彰式が、1月12日(土)に、鈴木淳一県教育委員会教育長や橋本明良県商工労働部部長らの臨席の下、ホテル辰巳屋で執り行われた。



衛藤雅昭薬学部長と受賞した黒澤梨紗さん(右)

## 奥羽大NOW

### 伊藤徳家准教授(薬学部)が第1回福島テックプランター選考会で受賞

福島県、株式会社リバネス、アカデミアコンソーシアムふくしまの共催で開催された第1回福島テックプランター グランプリ最終選考会(2月9日(土)、福島市コラッセふくしま)で、薬学部生薬学研究室の伊藤徳家准教授が企業賞を受賞した。

本選考会は地球と人類の課題解決を目標とする研究開発型ベンチャー企業を県内から発掘・育成することを目的に、大学などの研究者が保有する独自技術をプレゼンするコンテストだ。書類審査で選ばれた9団体(福島大学、福島医大、日本大学工学部、国立高専、民間ベンチャー企業、及び本学)が最終選考会に登場し、種々の分野での革新的テクノロジーを発表した。審査の結果、伊藤徳家准教授の「マルチタレント植物カンゾウの栽培と、新規六次化健康製品の開発」が、本会主催者でもあるリバネス社の企業賞を受賞した。

伊藤准教授は、「漢方薬や肝障害治療に必要な薬用植物カンゾウは全量を中国などからの輸入に依存してきたため、今では早期に国産化が求められている。研究の結果、国内栽培法

が見出され現在は官民共同で実用栽培試験が続いている。県内でも本学により栽培可能性が確認され、既に石川郡平田村では本格栽培が行われ、根を利用した六次化製品の販売も始まった。今後はより効率的な栽培法の検討と、地下部のみならず葉にも注目しての新製品開発が重要である」との発表を行った。

なお、カンゾウは本学薬用植物園でも展示植物として栽培されているマメ科の多年草で、開花はまれだが、去年は5月中旬に紫色の可憐な花を見ることが出来た。

(文責 薬学部 伊藤徳家)



授賞式(左:リバネス社社長、右:伊藤准教授)

### 本屋大賞などのコーナー設置

本学図書館にこのほど、2019年本屋大賞にノミネートされた10作品のコーナーが設けられた。全国の書店員がお薦めする話題の本が一堂にそろっているので、ぜひご一読いただきたい。

また、好評の「学生の『推し本』」コーナーもリニューアルされた。このコーナーには、ビブリオバトル全国大会で紹介された本が約30冊並んでいる。ビブリオバトルとは、学生が自分の好きな本をプレゼンし、どの本が一番読みたくなったかを競う大会である。この機会に、あなたの「推し本」を探してみたいだろうか。

4月からは「郡山を探そう」のテーマで郡山の紹介を中心とした図書の展示を予定している。





## 健康長寿県福島をつくる

薬学部2年 黒澤 梨紗

薬剤師の仕事とは何だろうか。以前見たテレビ番組の中で、ある有名な薬剤師が「薬剤師は薬を輪ゴムで止めて渡すだけが仕事じゃないのよ!」と訴えていた。その言葉がとても印象的だった。

現在、薬学部2年生の私は、6年間薬学について深く学び、その後、国家試験を経て薬剤師になる予定だ。薬を扱うプロフェッショナルとして、まず病院に5年勤務し、そこで得た経験や知識を基に、その後は薬局に勤務したいと考えている。一人ひとりに寄り添い、頼りになる薬剤師を目指したい。

しかし、私の理想の薬局と現在身近にある薬局にはギャップがある。そこで、私は新しいタイプの薬局を経営したいと考えている。そこには3つのアイデアを盛り込みたい。

1つ目は、薬局にレストランを併設することだ。人は長生きできればいいというわけではない。生きるからには、生き生きと生活して欲しい。そのためには健康寿命を延ばすことが大切だ。そう強く感じたのは、私の祖父が認知症を患ってからである。とんかつが大好きだった祖父だが、最期の1年間は何も食べられず、かなり痩せてしまい、天国へと旅立った。人間にとって、食べることは最も重要であり、また楽しみでもある。人間にはどんな栄養素が必要か、大学で学んでいる。個人的には、漢方薬の効能のあるものを使う薬膳料理や健康に良いという研究結果が多く報告されている地中海食についても興味を持っている。どうせ口にするなら健康的で美味しいものを食べてもらいたい。薬との相互作用を考慮しながら、薬剤師として食事のアドバイスをしたい。薬局が、病気になってから薬を受け取るためだけに来る場所ではなく、保健師や管理栄養士とともに食事や予防医学についてサポートする場所にしたい。

2つ目は、スポーツ施設・ジムの併設である。現在、年配の人だけでなく若者にも生活習慣病を発症する人が増えている。生活習慣病を予防するためには運動が重要であることは言うまでもない。薬局の数は今やコンビニエンスストアよりも多く、その存在はとても身近であるから、薬の処方と併せて、ジムのトレーナーと患者さんの情報を共有しながら、一人ひとりに合った運動プログラムを提案してはどうかと考えている。誰もが運動の重要性を知っているが、三日坊主で終わってしまう人も多い。そこで、薬剤師が持つデータや知識から、科学的に分析した結果を伝え、すぐに運動を始めてもらう。手軽に楽しく運動を始められるところがポイントで、薬局に来たついでに運動するという習慣に結び付けたい。これら2つのアイデアには共同経営者が必要になるのではないかと考えている。

3つ目は、居心地のよい薬局にすることだ。私の考える居心地のよい薬局には2つのポイントがある。1つには、個人情報保護することだ。薬の情報はかなりの個人情報だが、日本で個別のブースに分かれている薬局を私は見たことがない。仕切られていることで、個人情報を保護し、安心して薬剤師に薬や健康についての相談ができるのではないだろうか。他の人に自分の病気について知られたくない患者さんは少なくないと思う。

また、居心地のよい薬局のポイントの2つ目は、ずばり雰囲気である。私が個人薬局を起業する際は、観葉植物などを置いて、カフェのようなおしゃれな雰囲気も大切にしたい。まずは足を運んでもらい、薬や健康に関する情報を提供したい。ストレスの多いこの社会で、身体だけではなく心が疲弊している人も多い。働き方改革が叫ばれているが、日本はまだまだ長時間労働を強いられているのが現状だ。また、人間関係に悩みストレスを抱える人も多い。そこで、身体だけでなく心の健康についても患者さんを一緒に考えられる薬剤師でありたい。

私の理想を実現させるため、今はどんな患者さんにも対応できるように知識や技術力、観察力を高めたい。また、コミュニケーションについても今後実習を重ねる中で身に付けていきたい。患者さんや医療従事者の方々、さらには共同経営者等とのつながりを大切にできる経営が私の理想だからである。

私が個人薬局を経営したいのは、福島に住む人たちに笑顔で生活して欲しいと思うからである。チェーン店ではできない新しい取り組みをして地域活性化を図りたい。さらに、高齢化により増大している医療

費を、生活習慣病など初期の段階から継続的に指導することで解消したい。薬の処方やアドバイスはもちろん、予防医学に特化した食事や体操などについても総合的にアドバイスできるおしゃれで楽しい薬局を含む総合健康ステーションを起業したいと真面目に考えている。個人薬局開業資金は3千万円を見込んでいる。

楽しみながら、健康を目指す。薬剤師だけではなく、様々な人の力を合わせて、健康長寿県福島を作る、それが私の夢である。

## キャンパスの 風景

### 校歌碑と「不動の闘魂」

本学の校歌は昭和49年、創立三周年記念式典で「東北歯科大学校歌」として制定され、平成元年に文学部設立のときに「奥羽大学校歌」となりました。

作曲は福島市出身の古関裕而さん。生涯作品5千曲以上の国民的な作曲家として知られています。来年4月から古関さんと妻の金子さんをモデルにしたNHK連続テレビ小説「エール」が放送されます。期待が高まりますね。

作詞は房前智光さん。房前さんは水戸市出身の放送作家で、数多くの浪曲のシナリオを書かれた人です。たとえば「浪曲円谷幸吉物語」「若き日の小村寿太郎」など、義理と人情を描いた作品が多いようです。その中の一つに「不動の闘魂」という浪曲があります。実はこの浪曲こそ本学の創立者影山四郎先生の若き日の苦闘を描いたもので、国立国会図書館にも納本されております。アナログLP録音ディスク「浪曲不動の闘魂」のジャケットには演奏時間48分15秒の全文と、文部大臣などを歴任された日本身体障害者団体連合会会長灘尾弘吉氏の推薦のことばがあります。まさに創立者の不動の闘魂が描かれておりますので、その一部分を紹介しましょう。

「この浪曲の主人公の影山君は、福島県郡山の在の貧しい農家の四男として生れ、進学も望めず然も少年の日に身体障害者となったが、母親の深い愛情のもとに、何物にも負けない強い意志を持った人間に成長、さる三十一年には歯科技工士養成を念願して学園を創立し、同四十七年には東北唯一の歯科大学を創立、地元の人々から、深く尊敬されている」

なおこのレコードは昭和49年、影山四郎先生のご出身である片平町の常居寺に「闘魂の碑」建設を記念して浪曲界の最高峰天中軒雲月さんによって新作、テイチクレコードに吹き込まれ全国に発表されました。  
\*このコラムを書くにあたり本学が保有しているアナログLP録音ディスク「浪曲不動の闘魂」を利用しました。

(A)



校歌碑



「不動の闘魂」ジャケット

### 本多真史講師が檜葉市民大学で公開講座

2月24日(日)、福島県双葉郡檜葉町の住人を対象に市民大学公開講座が行われた。当講座の講師の1人として、本多真史歯学部講師(日本語学)も参加した。

授業では、これまでの檜葉町言語調査の成果、そこから見えてくる当地域の方言の特徴などが紹介された後、復習も兼ねて、方言に関する問題(クイズ形式)が出された。

被災地の人々を精神的に支え続けた「方言」。受講生たちは、当地域の方言について深く学習しつつ、その魅力をも再認識したようだ。



## 附属病院

### 歯科医師臨床研修修了式

平成30年度歯科医師臨床研修修了式が3月27日(水)、床講義室で行われた。

今年度は、23名が研修修了を迎えた。はじめに、山森徹雄研修管理委員長より研修歯科医一人ひとりに修了証が授与され、続いて杉田俊博病院長より日々の研鑽を継続するよう訓示があった。清野晃孝研修管理副委員長からは素直であること、謙虚であること、そして歯科医療に貪欲であって欲しいとはなむけの言葉があり、熱いエールも送られた。

修了証を手にした研修歯科医は、それぞれの進路での活躍を誓い合っていた。



### 附属病院第3回研修管理委員会

3月16日(土)、平成30年度第3回奥羽大学歯学部附属病院研修管理委員会が郡山ビューホテル本館で開催された。病院長の挨拶から始まり、今年度の臨床研修報告と臨床研修歯科医に対する評価の協議ならびに来年度の説明があった。また、清野晃孝研修管理副委員長より「2021年度からの新たな歯科医師臨床研修について」と題した講演があり、本院の協力型臨床研修施設等の参加者から多くの質問や意見があり、充実した情報交換となった。



## 歯学部研究紹介

## プルシアンブルー合成と均一液抽出によるセシウム分離濃縮法に関する研究

生体材料学講座 講師 斎藤 昇太郎

2011年に発生した福島第一原子力発電所の事故によって、福島県とその周辺地域に放射性セシウム（主にCs137）が飛散しました。放射線の量（放射能）が8000 Bq/kgを超える廃棄物や可燃廃棄物由来の焼却灰などは「指定廃棄物」として政府管理の下で除染地域近隣にて一時保管されていますが、その量が膨大であることや放射線量が半分になる時間（半減期）がCs137では約30年と長時間を要することなどの理由から、保管場所周辺地域にとって大きな負担となっています。このような背景から、筆者は、焼却灰からのセシウム除去と、取り出したセシウムの体積を簡便に小さくするための技術を、国立研究開発法人物質・材料研究機構の山口仁志博士らと研究・開発しています。

多くの焼却灰中セシウムは塩化セシウムとして存在し、その化学的性質は食塩（塩化ナトリウム）に似ていて水に浸すと溶けだします。水中のセシウムを捕集する方法として水溶液中でプルシアンブルーという結晶を合成する手法<sup>1)</sup>が検討されており、結晶がセシウムを取り込みながら生じることで、セシウムの捕集効率を従来と比べて向上させることが可能になりました。一方で、セシウムを取り込んだプルシアンブルーの結晶が極めて小さいため、自然に沈殿することが無く、ろ過処理ではフィルターが目詰まりを起こし、溶液からの回収効率が下がることなどが課題となりました。そこで本研究では、均一液抽出法<sup>2)</sup>（図）という高倍率濃縮技術を応用し、分散するプルシアンブルー粒子を微小体積に濃縮する手法を検討しました。均一液抽出法は溶液中の目的物質を高倍率に分離濃縮することが可能な手法であり、これまで100万倍の濃縮にも成功しています。

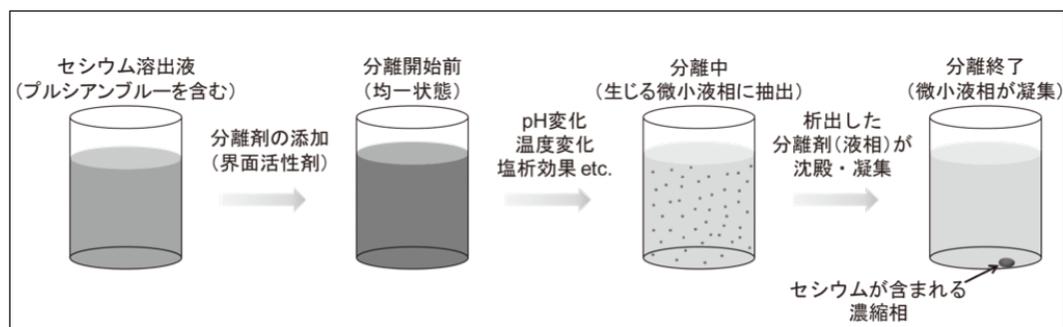


図 均一液抽出法の概要

検討の結果、焼却灰からの溶出セシウムのうち99%を溶液から回収することに成功しました。この結果は、増え続ける焼却灰を無害化し、放射性セシウムを減容化することで、管理コストや放射線の漏洩リスクが軽減できる可能性を示唆しています。現在の研究は非放射性セシウムを用いた結果であり、今後放射性セシウムを含む焼却飛灰への適応を検討しています。

1) 鶴原壽ら, 日本原子力学会和文論文誌, Vol.13, No. 4, p. 127 (2014).

2) 日本分析化学会編, 分析化学用語辞典, オーム社, p. 86 (2011).

薬学部研究紹介

医療薬学分野 教授 西屋 禎

役目が終わったタンパク質に「ユビキチン」という分解の目印を付けるのが「E3ユビキチンリガーゼ」です(以下E3)。E3はヒトで600種類ほど見つっていますが、基質が明らかになっているE3は多くありません。「誘導型一酸化窒素合成酵素(iNOS)」は、血圧調節や神経伝達、感染防御などの生理機能を持つ一酸化窒素(NO)を体内で産生します。iNOSはいったん発現すると、短時間に大量のNOを合成し、NOは非常に毒性の高いONOO-という物質に変化します。ONOO-は感染防御に役立ちますが、過剰なONOO-は私たち自身の細胞も傷つけることがあります。私はECS(SPSB)というE3(図1)がiNOSを分解に導き、過剰なNO産生を起こさないようにしていることを見出しました。

現在、私の研究室では、ECS(SPSB)の生理機能を明らかにするために、ECS(SPSB)の基質認識サブユニットであるSPSB(図2)に特異的に結合するタンパク質を網羅的に解析することで、iNOS以外のECS(SPSB)の基質の同定を進めています。また、ECS(SPSB)の機能を特異的に阻害する方法を開発しており、この方法を用いてECS(SPSB)の機能異常により生じる様々な変化を細胞レベルで明らかにすべく努力しています。

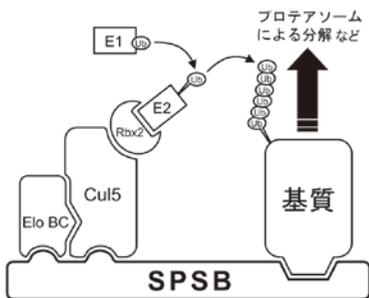


図1. ECS(SPSB)型E3ユビキチンリガーゼ

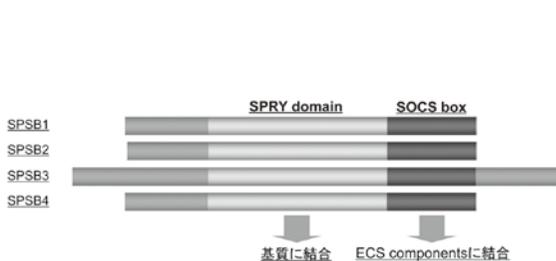


図2. SPSBファミリータンパク質

自著を語る

『なるほど統計学とおどろきExcel統計処理』改訂第8版  
山崎信也著 医学図書出版 2017年

1993年UCLA 医学部麻酔科に留学後間もなく、国際論文が不採用となる理由は“統計の誤り”であると知り、直ちにRonald Miller 監修 Anesthesia of the Statistics in Anesthesiaを参照して各統計原理を拙い数学力と英語力で学びました。しかし、当時の統計ソフトは高価で、各統計分析をExcel®の演算で行うしか手段がなかった私は、ご指導により、いつしか25種もの統計演算プログラムを完成させ、市販統計ソフトに匹敵するまで洗練させました。帰国後、当時の本学歯科麻酔学主任の奥秋教授のご指導で、このソフトを学会で紹介し、そこで市販化が要望され、奥秋教授のご支援で2000年に本書と統計ソフトystat2000が医学図書出版から初版されました。現在の改訂第8版とystat2018まで、約20年間ご好評を頂いておりますが、奥秋教授が亡くなられて12年が経ち、毎年、天国から印税が振り込まれてくる思いです。末筆に、これからの若人へのアドバイスとして、周囲のご指導を尊重し、何事にも精一杯向うことが大切である事を申し添えます。

(歯学部 歯科麻酔学分野 主任教授 山崎信也)



父兄会

平成31年度歯学部・薬学部父兄会役員ならびに行事予定と予算については下記の通りである。

歯学部

〔2019年度役員〕

歯学部父兄会

会 長 渡邊 哲  
副会長 安生 孝志  
監査役 富田 祐介

〔主な行事予定〕

定時総会 2019年 4月 4日(木)  
2019年 5月11日(土)  
2020年 3月10日(火)  
共済基金委員会 2019年 5月11日(土)  
2019年10月12日(土)  
2020年 3月10日(火)  
幹事会 2019年 5月11日(土)  
2020年 3月10日(火)

地域会(全体会・個別懇談会)

2019年6月23日(日)	大森東急REI
2019年7月7日(日)	大阪ガーデンパレス

〔予 算〕

(収入の部) (単位:円)

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	18,414,189
入 会 金	980,000
会 費	10,700,000
地域会参加費	300,000
雑 収 入	3,000
計	30,397,189

(支出の部) (単位:円)

科 目	本年度予算額
通 信 費	350,000
印 刷 費	300,000
会 議 費	1,300,000
消 耗 品 費	700,000
旅 費 交 通 費	1,300,000
慶 弔 費	180,000
雑 費	10,000
地域会開催費	1,680,000
課外活動援助費	3,230,000
学生福利厚生費	2,450,560
奥羽大学歯学会協賛費	100,000
学 習 活 動 助 成 費	2,700,000
予 備 費	16,096,629
計	30,397,189

薬学部

〔2019年度役員〕

薬学部父兄会

会 長 澁川 直久  
副会長 佐々木 丈博  
監査役 田村 かね

〔主な行事予定〕

定時総会 2019年 4月 4日(木)  
幹事会・定時総会・保護者懇談会 2019年 5月24日(金)  
保護者懇談会(4年・6年) 2019年 8月 3日(土)  
幹事会・定時総会 2020年 3月10日(火)

〔予 算〕

(収入の部) (単位:円)

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	14,928,627
入 会 金	1,200,000
会 費	12,600,000
雑 収 入	1,000
計	28,729,627

(支出の部) (単位:円)

科 目	本年度予算額
通 信 費	230,000
印 刷 費	100,000
会 議 費	1,300,000
消 耗 品 費	50,000
旅 費 交 通 費	300,000
雑 費	160,000
課外活動援助費	950,000
学生福利厚生費	12,440,000
予 備 費	13,199,627
計	28,729,627

## 本学関係新聞記事案内(平成30年4月～31年3月)

(図書館調べ)

\*日付は新聞掲載日です。記事のコピーファイルは図書館1階にあります。

- 平30. 4. 5 188人学生生活スタート 郡山・奥羽大で入学式 (福島民友)
- 平30. 4. 5 希望胸に新たな一歩 奥羽大入学式 (福島民報)
- 平30. 5.29 投薬を合理的、的確に 奥羽大薬物代謝・薬物治療学 小池勇一教授 (知の現場53)  
(福島民友)
- 平30. 6.15 テアフラビン食料品に 世界初 奥羽大薬学部竹元教授  
血糖値上昇抑制、疲労回復効果 生成技術開発し商品化 (福島民報)
- 平30. 6.16 紅茶から機能性粉末 奥羽大の竹元教授開発 生活習慣病の対策期待 (福島民友)
- 平30. 6.27 茶葉の特徴探る 奥羽大薬品製造研究室 薬を構造式から理解し応用  
薬用植物園 90科・230種を栽培 (キャンパス通信9) (福島民報)
- 平30. 7. 2 奥羽大歯学部同窓会支部 11月に社保研修会 (福島民友)
- 平30. 7. 8 歯科医・薬剤師体験しよう 来月8日、奥羽大で講座 (福島民友)
- 平30. 7.17 歯、薬学部概要学ぶ 奥羽大で学校開放 (福島民友)
- 平30. 8.10 虫歯治療を模擬体験 奥羽大 小中学生向けに講座 (福島民友)
- 平30. 9.26 幼児の治療に力 奥羽大歯科矯正学実習 学生の現場実習や見学可能  
カフェテリア・ハーモニー 豊富な料理が魅力 (キャンパス通信12) (福島民報)
- 平30. 9.26 福島民報社・奥羽大協定を締結 県民の健康づくりへ連携 力合わせ地域元気に  
(福島民報)
- 平30.10.11 新聞と地域の関わりを学ぶ 民報社と連携の奥羽大 (福島民報)
- 平30.10.21 大学共通テストに備え 郡山奥羽大で入試フォーラム (福島民報)
- 平31. 1.13 黒澤さん(奥羽大)ら表彰 県女性経営者プラザ懸賞作文 (福島民報)
- 平31. 1.13 金賞「健康長寿県福島をつくる」黒澤梨紗さん 奥羽大 (福島民報)
- 平31. 1.23 体内時計を研究 機能形態学研究室 病気予防に向け仕組み解明 歯学部  
附属病院 臨床教育の最前線 (キャンパス通信15) (福島民報)
- 平31. 1.29 口腔衛生で感染対策 奥羽大・感染免疫学 玉井利代子准教授 (知の現場69)  
(福島民友)
- 平31. 3.11 社会に貢献 誓い新た 奥羽大で卒業証書・学位記授与式 (福島民報)
- 平31. 3.12 医療の道へ歩み 奥羽大卒業式 (福島民友)

## 同窓会だより

久保田 文文(群馬県支部長 歯学部4期生)

当支部は昭和56年設立から開成会群馬県支部の名称で活動しております。当初は6人からスタートし、現在は50人の会員登録者、および5人の非登録者の合計55人の同窓生がいます。

福島県の地域の呼称を東から浜通り、中通り、会津地方と言うように、群馬県は県都前橋市を中心とし、東は東毛地区、西は西毛地区、北は北毛地区と呼んでいます。群馬県には代表的な山が3つあります。赤城山、榛名山、妙義山を上毛3山と言います。

江戸時代に栃木県は下野(しもつけ)の国、群馬県は上野(こうずけ)の国と呼ばれていました。これらの理由から地域新聞も栃木県は下野新聞、群馬県は上毛新聞の名前で県民に深く浸透しております。

群馬県は草津温泉、伊香保温泉また世界遺産の富岡製糸工場、福田、中曽根、小淵総理を輩出した保守王国、近年では自動車のスバルの街(太田市)などをイメージするかと思います。しかし、徳川家発祥の地(太田市世良田東照宮)、文福茶釜の寺(館林市)やその城主が徳川綱吉(5代将軍)であったと言う歴史はあまり知られていないと思います。

群馬県歯科医師会の会員は現在920名でほぼ福島県と同じ会員数かと思われれます。奥羽大学歯学部同窓生の登録会員は50名であります。

年1回ですが、「全国歯科大学同窓会交友会懇話会」を開催しており、北関東の場所柄、関東信越地区との他の大学との連携、交流が活発でもあります。

4年前に補綴学教授の鎌田政善先生が定年後、スバル自動車の本社があります太田市に開業し、日本老年歯科学会の群馬県支部長に就任され学術講演会、講習会を通じて同窓会員の中心的存在として活躍されております。

奥羽大学報158号によりますと、平成30年度の歯学部入学性は73名(うち特待生27名)でした。大学教職員の皆さまには大変なご苦労かと思いますが、もう数年の水河期を乗り越えられ、薬学部と共に飛躍の時代が来ることを群馬県支部一同期待申し上げます。



前列右から4人目が鎌田政善先生

## 同窓生のひろば

### 山形県からの報告

江良 謙次(歯学部4期卒)

山形市は郡山市から北西にあり約140Km離れておりますが、山深い奥羽山脈が山形県の東側に壁の様に存在するため、地震や台風などの影響が少ない地域です。しかし、冬期は雪に阻まれ山形県が丸1日陸の孤島になることを度々経験します。

昨年東北自動車道の福島県飯坂側から栗子峠をくりぬいてできた、延長13kmの直線の栗子トンネルは福島県と米沢とを最短で結び、かなり福島県が近くなった感じがしました。それが、本年4月13日には対向2車線で山形市の南側で繋がるようになり、車で郡山市までは1時間半くらいで着くようになります。

一方山形新幹線は、冬は大雪の影響、春から秋にかけては鹿や熊などの動物との衝突事故で列車が遅れることはしばしばです。「新幹線が動物と接触して遅延するなんて」と信じられない方は少なくありません。しかし、どんなに高速道路や新幹線が整備されようと、自然の脅威には歯が立たないのが現状です。

さて、山形県支部は3年前に山形県歯科医師会に入会している先生方を中心に、会員数の調査を行いました。その結果41名の先生が開業されていることがわかりました。遠い所では秋田県の県境のS先生、鶴岡羽黒のH先生親子、なかなかお会いすることができなく残念に思っております。酒田市には同窓の先生はいませんでした。またそれ以外の街で診療をされている先生は、山形市とその周辺におり6

名確認いたしました。2代目の先生も、少しずつですが、会に参加されるようになってきております。例年5月に総会、8月下旬にサマーセミナー、11月最終週に忘年会を企画しており、本学から新進気鋭の先生をお呼びし、特別講演を組んでおります。会員の懇親と勉学の場として同窓会がこれからも継続し活動していくことを期待しています。会員の高齢化が進んでおりマンネリ化は歪めませんが、新しい会員の発掘をしてゆき新しい風を同窓会に入れる必要性を強く感じている今日この頃です。



### 緑川 和希(薬学部2期生)

同窓生の皆様、大変ご無沙汰しております。

先日懐かしい学友からLINEが届きました。6件連続です。減多なことで連絡をくれない彼のこと、何かあったのか、緊急か、はたまた久しぶりに飲み会の連絡かと想像を膨らませて開きました。そう、皆さまのご想像通り。今回の学報の依頼です。飲み会のお誘いは次回に期待。しかしながら、文面からでも懐かしく思える、彼特有の言いまわしでお願いされ、気付けば二つ返事でお受けした次第でございます。

さて、近況といえますと卒業から7年、6年制第1期生として実習を受けた私が、今では学生を指導する立場となりました。新しいコアカリで少し緊張しています。その中で私が気になる地域連携の在宅についてちょっと。

私は山形県にある「かえて薬局上山店」に勤務しております。恥ずかしながら私の地域では在宅に薬剤師が必要だと思われていませんでした。突然「国から言われたから混ぜてください」では入れません。病院や介護施設等訪問し、研修会に参加させて頂き、医療・介護従事者合同の懇親会の開催等々たくさんの広報活動を行い、やっと薬剤師が在宅の場でも利用者さんの利益になると理解して頂き、活躍できるようになりました。あれから40年…まではいかないですが僕が関わり始めて数年、今では介護職員から相談がくることも。仕事を知ってもらう前に自分を知ってもらう。とても重要だと感じました。興味のある方はぜひ山形に。一緒に盛り上げて下さい。実習生もバンバン受け入れます、楽しいですよ、きっと。勤務終わりに山形名物やきとりを食べ

ながら奥羽大学の話を花を咲かせたいですね。焼き鳥ではございません。やきとりです。食べてみたい!と思った方、私をご案内させていただきます。「百聞は1口にしかず」です。

最後となりましたが、同窓生の皆様、我々の業務が人の生命健康にかかわることに深く思いを致し、絶えず薬学、医学の成果を吸収して、人類の福祉に貢献するよう努めて参りましょう。

## 退職によせて



歯学部口腔病態解析制御学講座  
歯科薬理学分野

教授 鈴木 恵子

平成27年4月1日に着任してから4年間にわたりお世話になりました。あつという間の月日

を振り返ると、つくづく学生教育の難しさを感じます。当初は奥羽大生の特徴を掴むのに時間を費やし、その後は、ポイントを理解させることに労力を注いだという印象です。そして、一方向の教育からは成果は得られないこと、学生に考えるチャンスを与えて初めて講義内容を納得してもらえることに気付いた4年間でした。一方、研究面では学内・学外の共同研究や海外からの受託研究の機会を頂き、短期間ではありましたが楽しむことができました。どうも有難うございました。



薬学部

教授 中村 郁子

本学受験生の志望動機に、「少人数制教育」「アドバイザー制によるきめ細かい指導」がよく出てきます。私の本学での5

年間は、講義や実習、薬局業務の一方で、学生との面談や対応にも多くのエネルギーを注いだように思います。現代の若者は、スマホで多くの人と交流は活発ですが、個人個人の関係は希薄だと言われます。そうした社会の中で、不安や生きにくさを感じ、きめ細かい教育に惹かれる学生も多いように思います。振り返りますと、欠席が多いとメールし、体調が悪い学生を病院へ連れて行き、模試の結果に

一喜一憂し、せめて大卒だけはと言った学生と国試合格を喜ぶという日々でした。そんな学生達が薬剤師として立派に活躍している姿を見ることは、何物にも代え難い喜びです。少人数制できめ細かく一人一人に寄り添う本学の教育は、どんな時代にも必要とされていると思っております。この5年間、支えて下さいました多くの方々に、心より感謝申し上げます。

山崎 康彦 助 教	歯学 部	〃
齋藤 弘毅 助 教	附属 病院	〃
伊藤 悠 助 教	〃	〃
兼島 靖彦 助 教	〃	〃
佐藤 光一 助 教	〃	〃
野中 康平 助 教	〃	〃
玉木 究 助 教	〃	〃
渡部 由子 助 教	〃	〃
根津 允 助 教	〃	〃
小泉 香澄 歯科技工士	医療 職員	〃
橋本 梓 歯科衛生士	医療 職員	〃
原田 直明 事務職員	薬学部 学事部	2019年1月31日付

人 事

< 退 職 >

佐藤 知哉 助 教	歯学 部	2019年1月31日付
角田 隆太 講 師	生体構造学	〃
	歯学 部	2019年3月31日付
	口腔外科学講座	〃
永山 道代 講 師	歯学 部	〃
	成長発育歯学講座	〃

< 任期満了 >

鈴木 恵子 教 授	歯学 部	2019年3月31日付
	口腔病態解析制御学講座	〃
中村 郁子 教 授	薬学 部	〃

< 期間満了 >

遠藤 進 事務職員	病院 事務部	2019年3月31日付
佐藤 安宏 課長補佐	総務 部	〃

< 定 年 >

影山 利夫 医事課長	病院 事務部	2019年3月25日付
------------	--------	-------------

平成31(2019)年度 奥羽大学オープンキャンパス・体験講座等実施概要

■ オープンキャンパス

開催日	時間	内容
7月13日(土)	10:00 ~ 13:00	オリエンテーション、学部紹介・入試説明、ミニ講義、休憩、キャンパス見学、実習体験、個別相談・学食体験 等
8月7日(水)		
8月8日(木)		
9月7日(土)		
2020年 3月26日(木)		

■ 歯科医師・薬剤師体験講座(小・中学生対象) ※ 本学ホームページ又は電話等にて事前申込み要

開催日	時間	内容
8月6日(火)	10:30 ~ 12:30	オリエンテーション、構内見学・移動、歯科医師・薬剤師体験講座、学食体験 等

奥羽大学報161号(通算No.286)平成31年3月31日発行 発 行 奥 羽 大 学 学 報 編 集 委 員 会 委 員 長 清 野 和 夫	☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1 電話 024(932)8931(代) FAX 024(933)7372 ホームページアドレス <a href="http://www.ohu-u.ac.jp">http://www.ohu-u.ac.jp</a> メールアドレス <a href="mailto:info@ohu-u.ac.jp">info@ohu-u.ac.jp</a>
--	--

※「奥羽大学報」送付先変更の方は、FAXまたはメールでご一報をお願いします。



Innovative Future  
奥羽大学



見てみよう。聞いてみよう。  
 きっと考えてるより、  
 前に進める気がする。  
 早速、個別で申し込もう。

# 個別見学 随時受付中



個別

## 見学プログラム事例

専門スタッフが見学・相談のプランをコーディネートいたします。



Innovative Future  
奥羽大学



奥羽大学 東北歯科専門学校

歯科歯生士科 歯科技工士科

奥羽大学 検索 [www.ohu-u.ac.jp](http://www.ohu-u.ac.jp)

〈お問い合わせ先 企画・広報課〉 〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1 TEL:024-932-9055 FAX:024-933-7372 E-mail:info@ohu-u.ac.jp